

研修報告書No.19

所 属：国立国際医療研究センター
氏 名：1年目研修医 石黒 賢志
研修先：大月町国民健康保険大月病院
宿毛市立沖の島へき地診療所

私は2017年2月6日から3月3日までの約1か月間、地域医療研修として、高知県幡多郡大月町の国保大月病院にて研修させて頂きました。高知県を訪れるのは人生初めてであり、慣れない土地で1か月間やっていけるだろうか・・・と、行き先の道中で不安に感じることもありましたが、研修を終えた今となっては、想像した以上に多くのことを学べ、充実した研修期間を過ごすことができたと感じています。

大月病院は高知県西南地域にある大月町唯一の病院であり、町内全域から多数の患者様が来院されます。常勤医の先生方は3名で、平日日中外来は多くの患者様の診療にあたらなければならないはず、非常にお忙しそうでしたが、その中で自身も、先生方の処置のお手伝いをしたり、時には自ら外来診療に携わったりといった、貴重な経験をさせて頂きました。また、大月病院は25床の病棟を有しており、研修期間中は自身も病棟患者様を何名か受け持ち、先生方と一緒に回診・処置、カルテ記載、カンファレンスでの経過報告等を行いました。

また大月病院では、救急患者対応も行っており、軽症から重篤な方まで様々な救急患者様に、外来診療と並行しつつ対応にあたりました。時には、専門的な治療・手術を必要とする患者様が来られた際、地域の中核病院に転院することもあり、転院搬送の際に救急車同乗することもありました。

その他、地域医療ならではの経験として、先生方の往診への同行、介護老人福祉施設・グループホームへの訪問、病院に併設されている地域医療包括支援センターでの実習等がありました。また、研修期間中には、沖の島へき地診療所での診療業務に先生と同行し、2日間の研修を行いました。

往診業務では、町内の様々な地域を回りつつ、実際に患者様の話を聞き、診察させて頂きました。患者様の内訳としては、軽症状ではあるけれども足や目の具合が悪い等、ADL上の問題があって通院できない方から、ほぼ日常ADLが寝たきりに近く、症状としては重いものの、家族やヘルパー等の支えもあり、在宅で治療・介護を継続している方まで、実に様々な方がいらっしゃいました。患者様やご家族の方々から話を聞いていくなかで、様々な理由で病院までアクセスできない方々を在宅で看っていくためには、往診が地域医療において重要であると学び、特に大月町のような、病院までのアクセスが決して良いとはいえない環境下では、往診が外来・病棟など病院内での業務と並んで不可欠なものであると知

りました。

今回の地域医療実習を通して感じたことは大きく二つあり、一つは患者様に対して医学的問題のみならず広い視野を持ちつつ診療にあたることの必要性、もう一つは多職種と密に連携して診療することの重要性です。自身が研修している病院は比較的規模の大きな病院で、その中で勤めている方々も医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・医療事務・ケアマネージャー・介護スタッフ・訪問看護師・・・等々、多数の職種に分かれています。かつ、各スタッフも多いため、一人の患者様に対して様々な問題があっても、それぞれの専門職種が比較的分業して行っており、それによって多数の患者様の医学的治療に専念でき、自身の医学的スキルを上げることができる反面、患者様一人一人の家族事情や住居環境、今後も健康を維持するための具体的な方策、といった社会的な事情及び退院後支援については、別職種で分担して行っており、なかなか見えてこないという問題があると感じていました。しかしながら、大月町のような、核となる病院が限られている地域や、沖の島のような、医師が常駐しているとは限らない地域では、一人の患者様に対する医療スタッフの数が非常に少ない故に上記に挙げた多職種の方々を全員揃えることは難しく、かつ医療資源も限られています。だからこそ、互いに協力し合い、それぞれの業務を補完しあうような形でなければ患者様の治療は達成できないということを改めて学びました。また、そういう経験を積み重ねていくことで、患者様の年齢・ADL等の要素を加味して今後も健康的な暮らしが送れるように支援するためには、時に介護サービス導入や施設手配、退院後支援や往診導入、さらに予防医学的な観点からは、地域全体の健康増進を達成するための方策をも考えていく必要があります、医師といえども単に患者様の医学的介入をすればいいだけではない、ということに改めて気付かされました。そして、そういうことに日々目を向けて診療にあたる一方で、自身の医学的スキルを上げることも疎かにせず、定期的に地域の中核病院に研修に行かれ、新たな知識を吸収し、学んだことを積極的に地域医療の現場に還元していこうとする先生方の姿に心をうたれ、自分もこれまでの研修で医療のごく一面しか見ていなかったと反省し、もっと頑張る勉強しなければ・・・と思いました。

今回の地域医療で学んだことを今後の研修生活に活かし、患者様の医学的な一面だけでなく、介護・地域支援の面まで含めた広い視点で診療にあたるよう努力していきたいです。また、お世話になった先生方の姿を見習い、これからも幅広く知識を吸収しつつ、様々な職種の方々と連携し合いながら、研修に励んでいきたいと考えています。

ありがとうございました。